

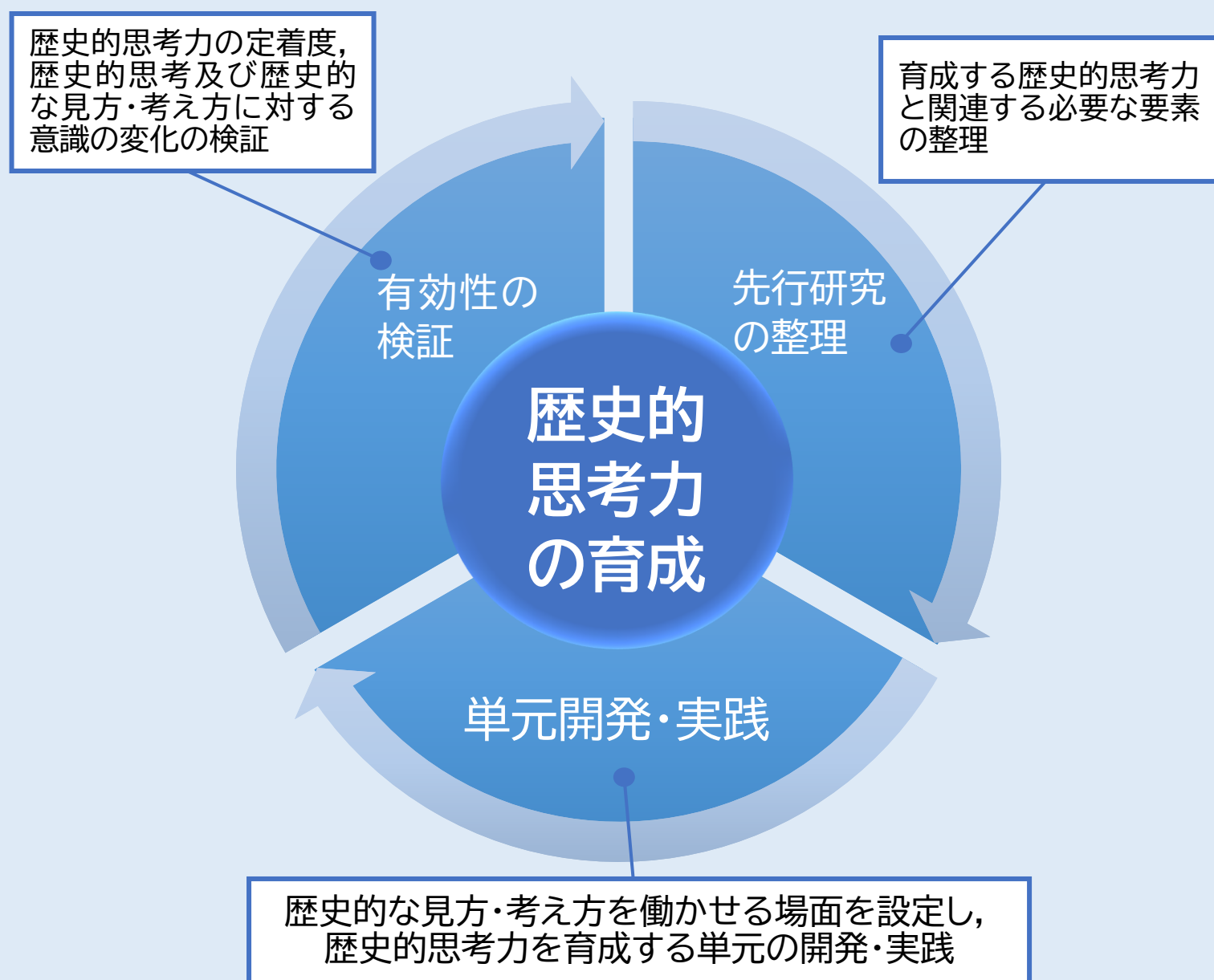
# 中学校社会科における歴史的思考力の育成に関する研究：歴史的な見方・考え方を働かせる単元開発と評価

著者	大杉 鏡康, 石上 靖芳
発行年	2021-03-22
出版者	静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻(教職大学院)教育方法開発領域
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00028098">http://hdl.handle.net/10297/00028098</a>

# 中学校社会科における歴史的思考力の育成に関する研究

## － 歴史的な見方・考え方を働かせる単元開発と評価 －

本リーフレットでは、中学校社会科歴史的分野において育成すべき資質・能力である「歴史的思考力」と、「歴史的な見方・考え方」に着目し、先行研究を整理しました。さらに、アクション・リサーチ(改善型実践研究)を通して、江戸時代の幕政改革の単元開発・実践から、どのように授業や単元をデザインするのかを1つの事例として示しました。



静岡大学大学院 教育学研究科

教育実践高度化専攻(教職大学院) 教育方法開発領域

# 1 歴史的思考力(資質・能力)と 歴史的な見方・考え方の整理

A市立B中学校の2年生 112 名を対象にした質問紙調査における「歴史の学習が好き、もしくは嫌いな理由を教えてください」という質問に対する回答の一部

【歴史の学習が好きと答えた生徒】

○昔のことを覚えるのが楽しい。

【歴史の学習が嫌いと答えた生徒】

▲言葉を覚えるのが大変。 ▲前の時代と関連づけるのが難しいから。

▲覚える単語が多くていや。 ▲人物名が覚えられないし、むずいから。

知識の定着(=暗記)のみを重要視し、資質・能力が育成されていない現状・・・

育成すべき資質・能力は？

## 歴史的思考力

①歴史事象を異なる時代に活用・転移させようとする学びに向かう力・人間性等②読み取った知識を関連付けたり、解釈したりする思考力・判断力・表現力③歴史事象や時代を読み取り、理解する知識・技能の3つの要素で構成される資質・能力

学びに向かう力人間性

A：歴史事象を異なる時代に活用・転移させようとする力→「活用・転移」

知識・技能

D：史料を読み取り、内容を理解する力  
→「内容理解」  
E：歴史を大観し、構造的に理解する力  
→「構造的理解」

歴史的な見方・考え方

a：時系列 b：推移  
c：比較 d：関連

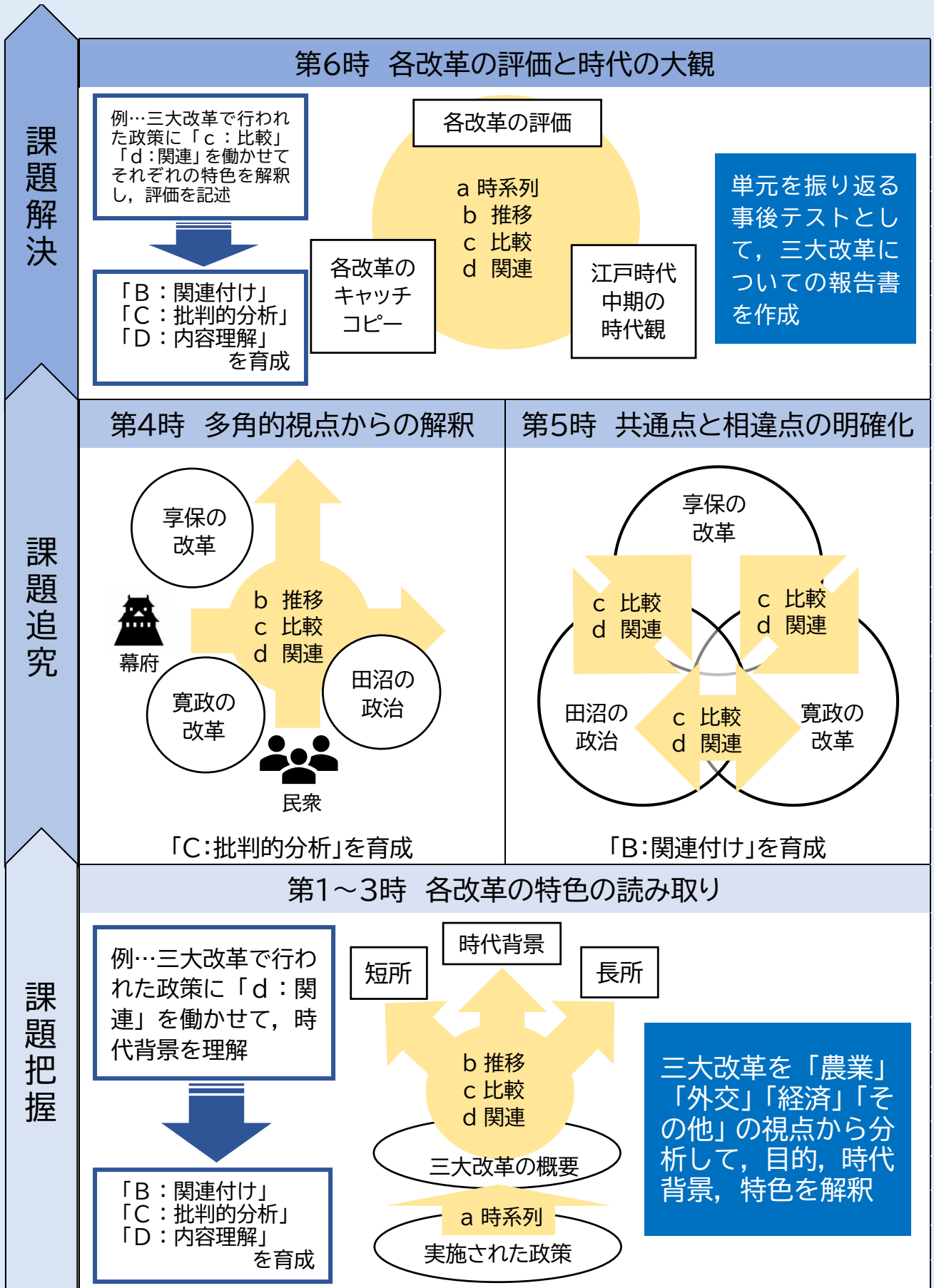
思考力・判断力・表現力

B：歴史的变化を把握し、関連付ける力  
→「関連付け」  
C：歴史的解释を批判的に分析する力  
→「批判的分析」

➤資質・能力の3つの柱に基づいて、池尻・山内(2012)、土屋(2015)、山路・石上(2018)などの先行研究を参考に整理

➤歴史的思考力を育成するためには、「a:時系列」「b:推移」「c:比較」「d:関連」の4種類の歴史的な見方・考え方を働かせることが重要

# 2 歴史的思考力を育成する単元デザイン



# 3 開発した単元について

## 第4時 多角的視点からの解釈

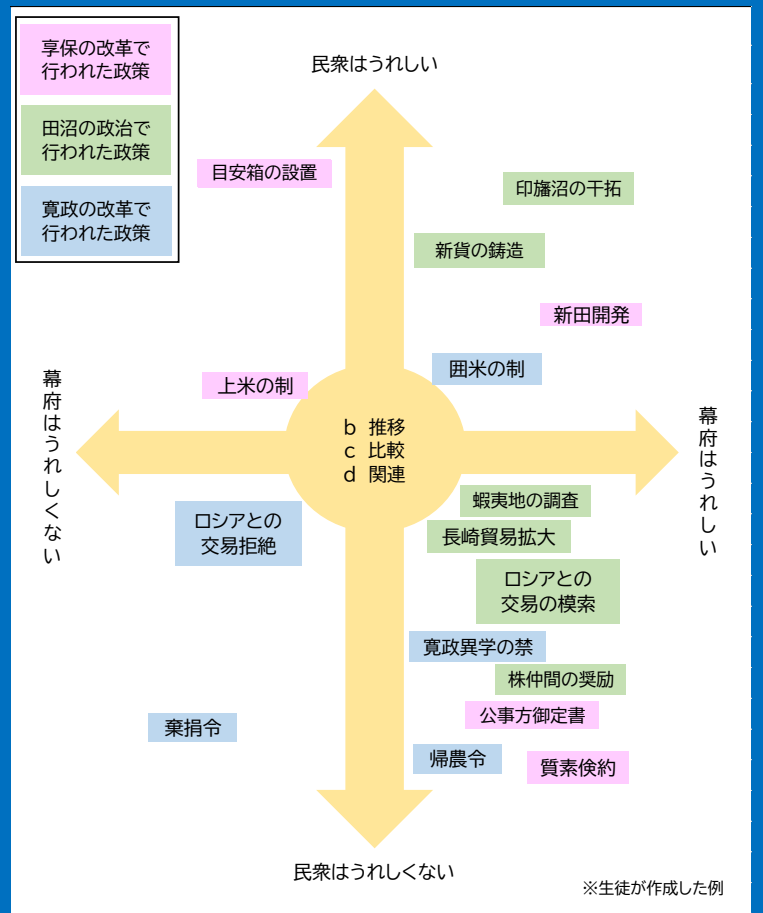
➢ 「民衆」と「幕府」という2つの軸で構成された座標に，三大改革で行われた政策が書かれた付箋を，小グループで話し合いながら配置

➢ 影響が似ているものや関連しているものを分類し俯瞰

例…実施された政策に「d：関連」を働かせることで，2つの立場に与えた影響を根拠に基づいて考察

「C：批判的分析」を育成

各改革における政策が2つの立場に与えた影響を解釈



## 第5時 共通点と相違点の明確化

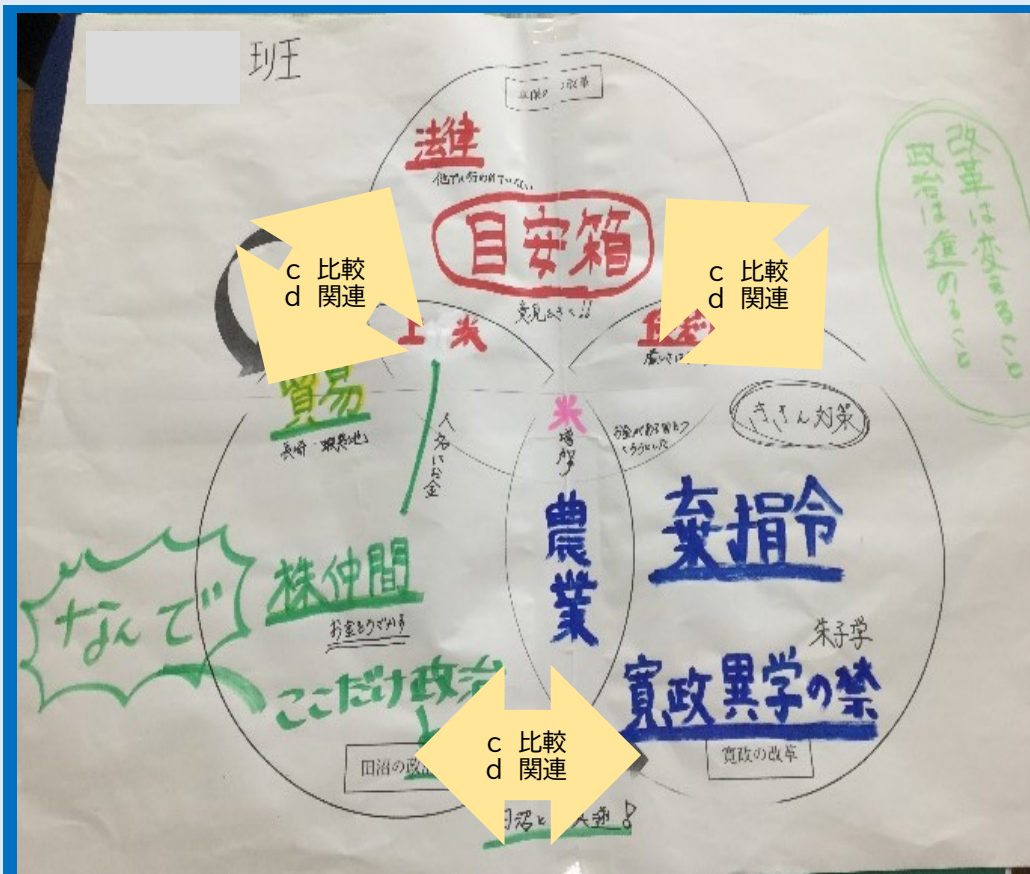
➢ 小グループで解釈した三大改革を，バン図を用いて表現

➢ 重視した産業，改革のコンセプト，民衆の生活に与えた影響などの，共通点や相違点を考察

例…農業に関する各改革の政策に「c：比較」を働かせることで，共通点を解釈

「B：関連付け」を育成

比較することで各改革の特色を再び解釈

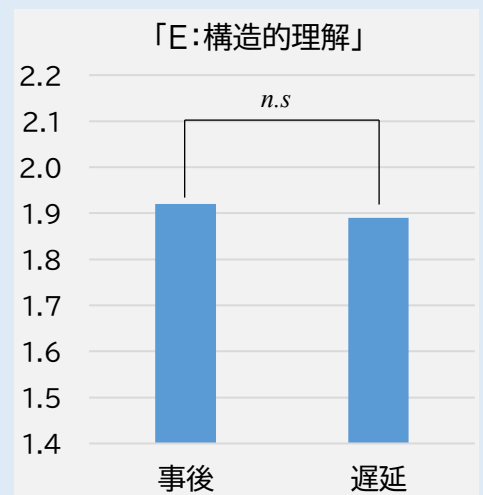
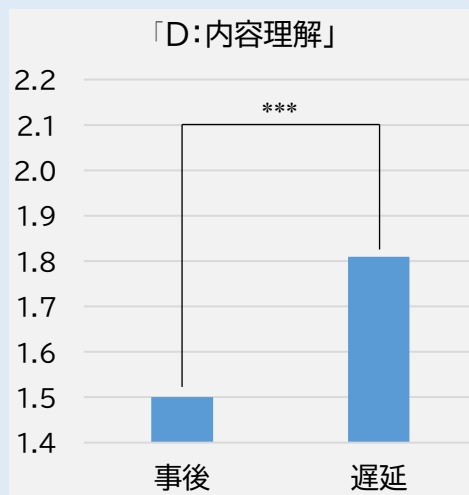
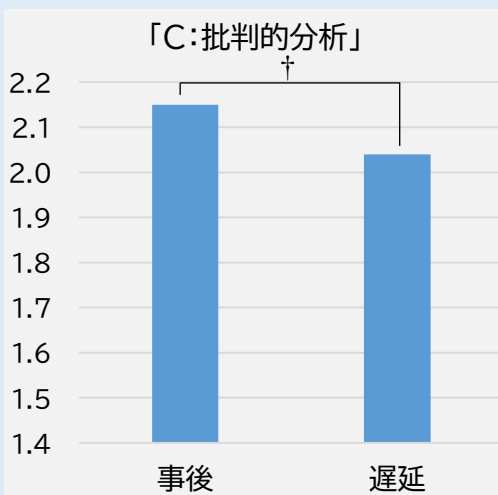


# 4 有効性の検証

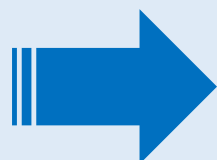
開発した単元の有効性を検証するために、6時間目に事後テスト、単元終了後の約2ヶ月後に遅延テストを実施し、複数の教員で評価しました。今回の実践では、歴史的思考力の「C:歴史的解釈を批判的に分析する力」、「D:史料を読み取り、内容を理解する力」、「E:歴史を大観し、構造的に理解する力」の3つの下位能力をルーブリック(評価指標)に基づいて得点化し、評価しました。

## 歴史的思考力の定着度を評価するルーブリック(評価基準)

歴史的思考力	C:歴史的解釈を批判的に分析する力	D:史料を読み取り、内容を理解する力	E:歴史を大観し、構造的に理解する力
評価項目	改革の内容を評価した記述	改革内容を表すキャッチコピー	江戸時代中期を表現した記述
得点	3 各改革の長所と短所を解釈した上で、幕府と民衆の両方の立場から政策方針や内容を根拠に基づいて評価している。	改革の全体像とその特色を捉え、理解した上で、適切な言葉を用いて表現することができる。	各改革の特色を比較・関連させたうえで、時代の全体像をとらえて記述することができる。
	2 各改革の長所と短所を解釈した上で、政策方針や内容を根拠に基づいて評価している。	改革の全体像を捉え、理解した上で、適切な言葉を用いて表現することができる。	時代の全体像をとらえて記述することができる。
	1 政策方針や内容を根拠に基づいて評価している。	改革で行われた政策を理解した上で、適切な言葉で表現することができる。	部分的な歴史事象をとらえて記述することができる。
	0 政策方針や内容を根拠に基づいて評価することができていない。	改革で行われた政策を理解することができていない。	歴史事象をとらえて記述することができていない。



「C:批判的分析」に関しては明確な向上・維持が示されなかったが、「D:内容理解」は向上、「E:構造的理解」は維持



開発した単元デザインの実践によって、「知識・技能」に関する歴史的思考力の向上・維持につながる



# 5 成果と今後の展望

本研究の目的は、中学校社会科において育成すべき歴史的思考力の定義とその下位能力を明確にし、それらと歴史的な見方・考え方の関係を構造化した単元を開発・実践して、その有効性を検証することでした。その結果、歴史的思考や歴史的な見方・考え方に対する意識の向上、知識・技能に関する下位能力である「D:内容理解」の向上、及び「E:構造的理解」の維持を確認することができ、開発した単元デザインの妥当性を示すことができました。

今回開発した単元デザインを踏まえ、さらに効果的な単元のリデザインを行い、実践に取り組んでいきたいと考えます。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

成果	今後の展望
(1) 中学校社会科において育成すべき歴史的思考力の定義とその下位能力を明確にし、それらと歴史的な見方・考え方の関係を構造化した単元の開発・実践 (2) 歴史的思考や歴史的な見方・考え方に対する意識の向上 (3) 知識・技能に関する下位能力である「D:内容理解」の向上及び、「E:構造的理解」の維持の確認	(1) 本研究の単元デザインに基づいた複数の授業実践の継続 (2) 本実践で検証できなかった歴史的思考力の下位能力の育成・向上 (3) 生徒の探究時間をより多く確保する単元のリデザイン

## 【本研究に関連する論文】

大杉鏡康・石上靖芳(2021)「中学校社会科における歴史的思考力の育成に関する検討－江戸時代の幕政改革に歴史的な見方・考え方を働かせる単元開発－」静岡大学教育実践総合センター紀要 31 巻 P229-238

臼井 秀明,石上 靖芳(2018)「小学校社会科における『歴史的思考力』を育成する単元開発と評価方法に関する実践研究－『社会的な見方・考え方』に焦点をあてて－」静岡大学教育学部研究報告. 教科教育学篇 50 巻 P39-54

山路崇仁, 石上靖芳(2018)「小学校社会科歴史分野における時代の構造的理解を促進する単元開発とその評価:歴史的思考力の育成に焦点をあてて」静岡大学教育学部研究報告.教科教育学篇 50 巻 P55-70

## 【リーフレット PDF 版の取得】

静岡大学 中学校 歴史的思考力

検索

【発行日】 令和3年3月 22 日

## 【制作(静岡県アクションリサーチ研究会)】

掛川市立大浜中学校 教諭

大杉鏡康 akiyasu1129@gmail.com

(静岡大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻(教職大学院) 教育方法開発領域 2021 年修了)

静岡大学大学院 教育学研究科 教育実践高度化専攻(教職大学院) 教育方法開発領域 教授

石上靖芳 ishigami.yasuyoshi@shizuoka.ac.jp

## 【協同研究者(静岡県アクションリサーチ研究会)】

田村響太郎(袋井市立袋井中学校 教諭)

那須健治(富士市立富士南中学校 教諭)

柳原和弘(浜松市立庄内学園 教諭)

【附記】本研究は、令和元年～3年度科学研究補助金基盤研究(C)(課題番号 19K02728)研究代表者 石上靖芳)を受けての研究成果の一部です。